

令和6年度 日立市立駒王中学校「不祥事ゼロプログラム」

駒王中学校は、不祥事の完全防止に向けて、職員一人ひとりが自らの課題として受け止め、全校をあげて取組み、行動していくことを目標として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

駒王中学校「不祥事ゼロプログラム」の実施責任者は校長とし、教頭及び教務主任がこれを補佐する。また、学年主任は校長、教頭及び教務主任を補佐し、教職員の中核となりプログラムの推進を図る。

2 ねらい及び年間計画

1 ねらい

- ・ 月1回の定期的な研修により、不祥事の未然防止と服務規律の確保を期する。
- ・ 新聞やネット報道等を活用し、機会を捉えた研修により不祥事の未然防止を図る。
- ・ 服務規律に関して、教職員の「自分事」としての意識向上と、若手教員(教職経験6年未満及び本校着任1年目の教職員)の研修に対する意欲・態度、効果的な研修方法の実践力の育成を図る。
*上記の若手教員をグループ1～3に、各2名ずつ配置する。
- ・ 「心理的安全性」を確保することで、「チーム駒王」としての組織力の強化を図る。

2 年間研修計画 (※年間計画以外にも、実態や状況等に応じて適宜研修を実施する。)

月	活動計画	担当 *が主担当
4	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
	○「人権感覚・不適切な指導」「楽メを中心とした保護者への文書配付・送信における情報漏洩」についての講話	教頭
	○「生徒指導面における配慮を要する生徒」への支援方法の共通理解及び教員の人権感覚についての講話	*生徒指導主事 教頭
	○「健康面における配慮を要する生徒」への共通理解及び体験研修「アレルギー対応・エビペンの使用方法」	養護教諭
	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
5/27 (月)	○今年度のコンプライアンス研修及び服務規律全般について 「不適切な指導時における対処方法研修(ロールプレイ)」 一合言葉「校長先生が呼んでいます」「来校者がおります」の設定 ○服務研修「学校徴収金」及び「処分の内容と経済的損失」	教頭
6/24 (月)	○服務研修「飲酒運転根絶のための具体策」 *交通手段の確認やプリベンダーの設定等、	*体育部
7/8 (月)	○服務研修「個人情報のレベル確認と情報管理」	*情報部
	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
8/23 (金)	○服務研修「アンガーマネジメント研修(ロールプレイ)」	*生徒指導部
	○1学期の研修の成果と課題、2学期への修正改善 ◆チェックリストによる自己評価	教頭
9/9 (月)	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
	○服務研修「職員のメンタルヘルス」	*保健部
10/7 (月)	○服務研修「セクハラ・ワイセツ事案に関する事例研修」	グループ3
11/25 (月)	○服務研修「飲酒運転事案の事例研修」	グループ2
12/24 (火)	○2学期の研修の成果と課題、3学期への修正改善	教頭
	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
1/27 (月)	○服務研修「教職員の交通安全に関する事例研修」 ◆チェックリストによる自己評価	グループ1 教頭
	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
2/13 (木)	○教職員のコンプライアンス意識高揚のための講話	校長
3/3 (月)	○3学期の研修の成果と課題、次年度への修正改善	教頭

3 検証

(1) 中間検証(10月下旬)

2に規定する研修計画、取組事項について、令和6年10月下旬までに実施状況を確認し、未実施があった場合は、令和6年11月中に補完措置を講ずる。また、各目標達成に向けて研修計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行う。

(2) 最終検証(3月)

2に規定する研修計画、取組事項について、令和7年3月初旬に実施状況を確認するとともに各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定が必要な場合は、新たな目標設定を行ったうえで、次年度の不祥事ゼロプログラムを策定する。

4 実施結果

(1) 令和7年3月初旬に実施状況を確認し、学校ホームページにて公表する。

(2) 不祥事ゼロプログラムの策定及び実行・結果については、学校運営協議会に報告し承認を受けるものとする。